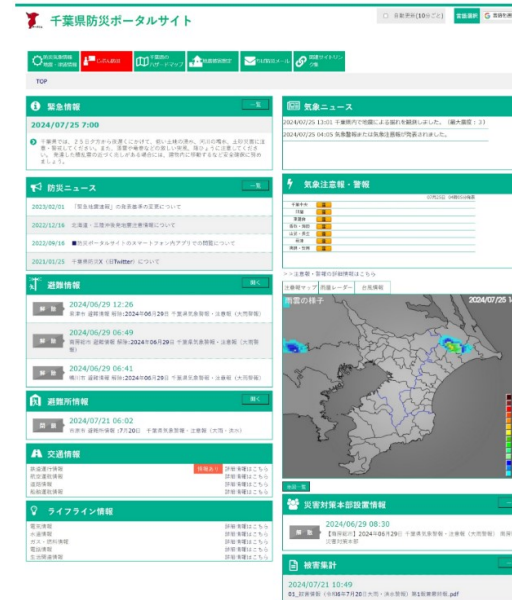


防災情報システムを利用した情報の収集・処理により、迅速な災害対応や気象情報などの防災情報の提供を行います。

▶防災情報システム等運営事業

災害時に被害状況や避難情報等の防災情報を収集・処理するとともに、防災ポータルサイト、防災メール、Lアラートを通じて県民への防災情報の提供も行う「防災情報システム」等を運営しています。

防災ポータルのページ→



河川監視カメラによるモニタリングにより、水位情報をいつでも確認できます。

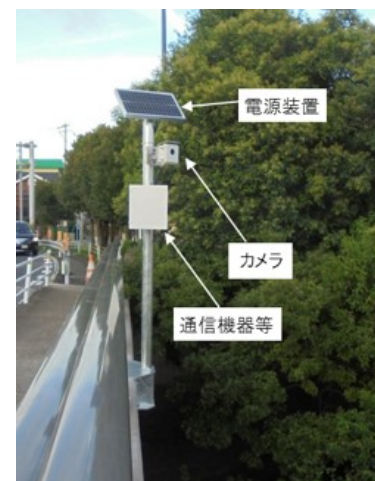
▶デジタルを活用した河川防災対策

市町村の避難判断の指標とされている水位計近傍において増水の切迫性を確認できるよう、河川監視カメラを設置し、映像・水位情報をウェブサイトで公表しています。

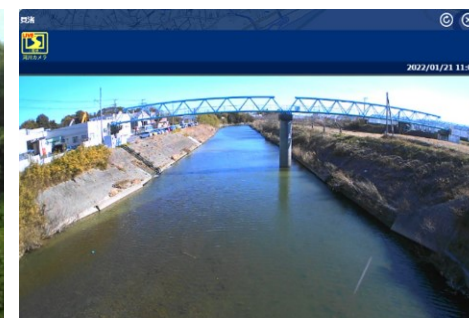
雨量・河川水位・河川映像に関するページ→



河川監視カメラ



公開映像



河川監視カメラ:計39河川 53箇所

YouTube広告を通じた**プッシュ型注意喚起**により**飲酒運転根絶**を目指します。

▶飲酒運転の根絶に向けた啓発事業

アルコールに関連する動画の視聴傾向があるYouTube視聴者を対象に、千葉県公式PRチャンネルに掲載している飲酒運転根絶動画をCM掲出しています。

飲酒運転の啓発に関するページ→



若者をターゲットにした**YouTube広告**により**消費者被害を防止**します。

▶YouTube広告を活用した消費者への教育・啓発活動

成年年齢が引き下げられたこと等により、若者が消費者被害に遭う機会の増加が懸念されます。そこで、若者の消費者被害防止を目的に、視覚的に情報を得やすい映像教材を作成し、YouTube広告を活用した効果的な消費者教育の推進を行っています。

県公式YouTubeページ→





暮らしのDX・医療・福祉

情報端末やソフトウェアの導入支援を通じて障害福祉サービス事業所の業務負担の軽減を図ります。

▶障害福祉分野におけるICT導入モデル事業

障害福祉サービス事業所等における業務の効率化及び職員の業務負担の軽減を図るため、タブレット等の情報端末やソフトウェアなど、ICT機器の導入支援をしています。

障害福祉分野のICT導入モデル事業に関するページ→

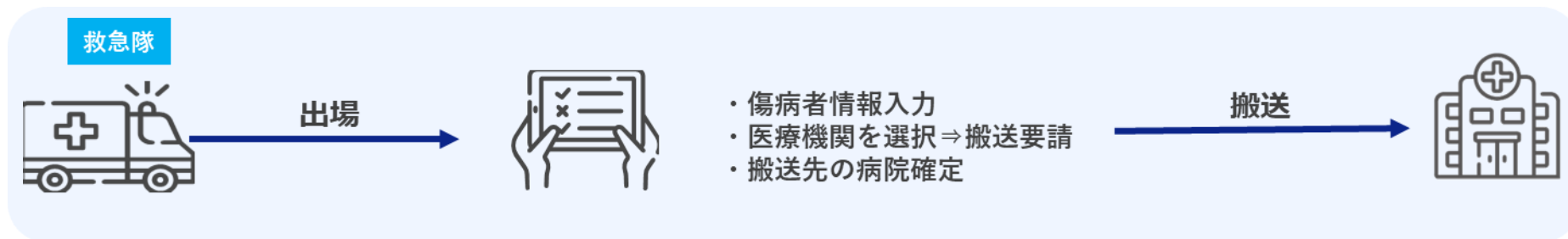


医療機関への患者情報と受入可否の一斉照会・共有により搬送時間の短縮を図ります。

▶救急医療等業務支援システム導入事業

救急搬送を効率化するため、救急隊及び救急医療機関の間で、患者情報と受入可否を複数の医療機関に一斉に照会・共有できる「救急医療等業務支援システム」を構築・運用しています。

救急医療に関するページ→



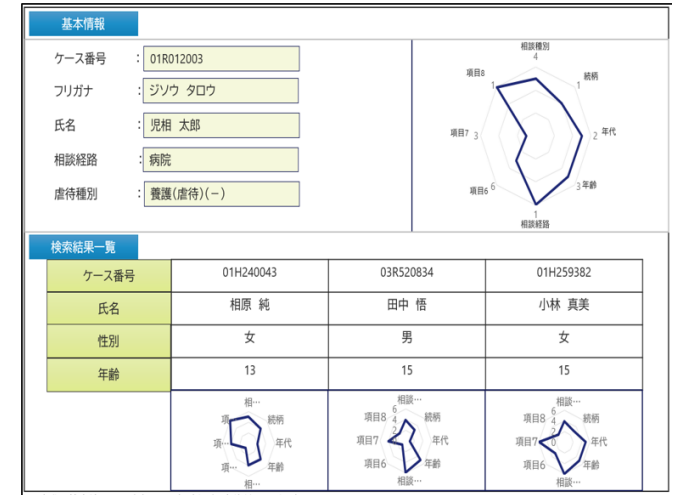
暮らしのDX・子育て

AIエンジンを活用した高精度の検索機能により、子供の安全を守ります。

▶ ICTを活用した児童相談所業務改善事業

現システムのデータベース内にある児童情報等をAIエンジンにまとめるとともに、高精度の検索機能をシステムに追加しました。検索機能を利用した過去の類似事例の確認により、児童相談対応における虐待の重篤度・一時保護の必要性の判断を補助しています。

児童相談所に関するページ→



類似と判定された根拠をチャートとして視覚的に表示

暮らしのDX・社会資本・まちづくり

ウェアラブルカメラを用いて施設を効率的に管理することにより、将来にわたって安定的に飲み水をお届けします。

▶ 県営水道における業務の効率化に向けたウェアラブルカメラの導入

業務効率化に向けたICT等利活用策の一環として、浄・給水場、水道事務所等における施設点検等の現場作業に活用するため、ウェアラブルカメラを導入しました。

千葉県営水道に関するページ→



遠隔地でカメラの映像を確認



暮らしのDX・環境保全

わな作動の自動的通知により見回りを効率化することで、農作物被害を防止します。

▶イノシシ等有害獣被害防止対策事業

有害鳥獣の捕獲の際に、わなが作動したことを捕獲従事者に自動的に通知するシステムなどのICT機器の導入を促進することにより、見回りの負担軽減を進めています。



有害鳥獣対策に関するページはこちら→

